

前浜通信



写真は、Marine Day 於 赤崎駐車場

Marine Day

夏本番の暑さが続いておりますが、島民の皆様におかれましては、ご健勝のことと存じます。

さて、先の七月九日に今年度からの行事である「Marine Day」を実施しました。内容は、赤崎でのシュノーケリングと周辺海岸のビーチクリーンです。

シュノーケリングでは、神津島ダイビング協会に協力いただき、ウエットスーツの着方から入水の仕方、マスク・シュノーケルを着用した泳ぎ方まで、丁寧に指導していただきました。当初、悪戦苦闘している生徒もいましたが、数分も経つとスイスイとシュノーケリングを楽しんでいる様子があり、若い生徒達の吸収力には目を見張るものがありました。目を輝かせ、夢中になっている姿や普段の学校生活では見られない様子があり、学校行事の持つ意義や重要性、必要性を改めて実感しました。

ビーチクリーンでは、漂流物や流木を拾い集めました。回収したごみの処分に神津島村役場の方々（移動時の送迎含む）、大島出張所神津島支所の方々に協力いただきました。真夏日の中、熱心に取り組む姿には、生徒達の神津島への思いが感じられました。昨今、海洋プラスチックごみは海洋環境や生態系に大きな影響を与えるとして問題視されています。今回の活動で感じたことが、様々な学びに発展していくことと期待しています。

副校長 高見澤 健吾

一学期は、コロナ禍で一部の教育活動に制限がありました。昨年に比べると自宅学習期間もなく、学校行事も行えませんでした。

一方で、三年生の修学旅行は断念せざるを得ませんでした。生徒の心情を思うといたたまれない気持ちでしたが、現実を受け止めている生徒の姿を見て、心の強さを感じました。生徒の成長はピンチのたびに加速されていくようで、感服いたしました。

新型コロナウイルスの感染拡大が再び深刻な状況となりましたが、開幕した東京オリンピックから、連日、明るいニュースが届いています。テレビ画面を通してですが、観戦のたびに興奮し、喜び溢れ、湧き上がってくる感動にスポーツの力を実感しております。まだまだ先の見えないコロナ禍ですが、必ず収束していきます。アフターコロナというよりビヨンドコロナを意識し、未来を見据えて今日を大事にする気持ちが生徒を強く逞しくしていくと信じています。二学期以降も、生徒・保護者良し、教職員良し、地域・村民良しの三方良しの教育活動を目指してまいります。引き続きご支援ご協力をよろしくお願いたします。

新行事、マリンデー

「島ならではのという行事をやってみよう。」
 そのような発想からビーチクリーニングとシュノーケリングを新行事として行いました。
 シュノーケリングは、地元ダイビング協会のプロの方々の力をお借りしました。お昼は、みんな同じお弁当を長浜海岸で食べました。とても美味しかったです。

一年生 清水 柚子
 海のシュノーケリングでは、赤崎でしか見られない様々な魚を見ることができました。シュノーケリングの先生方やクラスの人々などの交流を深められると同時に海で泳ぐことの楽しさを改めて感じました。潜水の仕方やシュノーケルマスクに水が入ってしまった時の対処法など、夏に向けてより海を楽しめるようなことも教えてもらい、すぐためになりました。島ならではの行事だからこそ、これからもっと活気のある行事にしたいです。

一年生 長岡 祥太郎
 今回のビーチクリーニングを行って、神津の海が綺麗なのは、このような活動をしてくれている人がいるからだと思いました。前浜でもよくゴミが漂着しているのを見ます。今は、海洋汚染が地球規模で広がっているその対策が大きな問題となっています。

全員で掃除した後の海岸は、凄く綺麗になりました。

今後も、自分の好きな神津の海を守るためにビーチクリーニングを行いたいと思っています。また、海洋汚染の対策についても、自分たちでできることは何かを考えて行きたいです。



二年生 鈴木 波紅
 Marine Dayのシュノーケリングを通して、神津の海の豊かさに改めて気づきました。僕は鉾をやっていて、どの季節にも海に入っています。普段は何も思わないのですが、鉾を持たないで海に入ると、いつもはよく見ない魚にも目を向けるようになりました。

外国では「クリスマスツリー・ワーム」と呼ばれる「イバラカシザシ」という魚をダイバーの人から教わりました。黒潮の影響を受けた豊かな自然に触れられた体験でした。



二年生 本村 友則
 ビーチクリーニングをしてプラスチックごみが特に多いと感じました。海流に乗ってくる漂流ごみが問題になっているのを知っていました。実際にどのようながみが流れているのかはわからなかったのですが、ペットボトルやハンガーなどを拾って海の現状を知ることができました。漂流物の他にも、その場で見捨てられたであろうきれいなごみもありました。

この経験をきっかけに、これからも積極的に活動に参加していきたいです。

三年生 山田 楓果
 今年度から始まったMarine Dayは生徒、先生方全員で赤崎に行きました。このような行事ができるのは島ならではの恵みだと思います。

私は久しぶりにシュノーケリングをするので緊張していました。しかし、海の美しさに感動しとても楽しむことが出来ました。教えてくださった講師の先生方ありがとうございました。



三年生 古屋 竜樹
 今回ビーチクリーニングをしてみて、ごみが予想以上に落ちていたなと思いました。二グループがおよそ3時間程別の場所を掃除してみて、ペットボトルや漁具、ガラス、ライターなど様々なものが落ちていました。中にはリサイクルできるものも混じっていました。今回このような行事をしたことにより、海にたくさのごみがあることを知ることができたと同時に、地球規模で広がっている海洋汚染の問題を実感できて、もっとたくさんの人々にこのことを問題提起していきたいと考えました。